夢と志【学校通信】

平成 26 年 5 月 8 日
第 65 号

西中の風

～『信頼と笑顔、品位を備えた成長』～

伊丹市立西中学校長
豊田　實

来週末(土)はオープンスクールへ 5/17

～教師も、生徒も、
来校された方をもてなす授業づくり～

「本校生徒の学力向上のねらい」
生徒の学習意欲と学習習慣の姿勢そのものに変容が認められることによって、ご家庭、保護者の信頼を得られることとしています。

魅力ある授業参観はどのようなものか、以前学校評議員会でも協議事項としたことがあります。オープンスクールを九日後にひかえて次のように考えています。教職員と生徒たちの双方には「もてなす」心と姿勢が大切だと話しています。来校される参観者を歓迎するため次のことに配意しますので皆様もご遠慮なく入室願います。

○室内へ招き入れる心遣い。
○入室し易いように生徒の席位置を少し詰めて教室後部の空間を広くする。
○教室の出入り口は開けて、廊下側の窓は全開にし多くの方が参観できるようにする。

教師と生徒たちが共に学習活動を協働して作り上げることを感じていただければと存じます。中学校の授業レベルはどのようなものかと興味を持たれて来校される方も多いことがこれまでの感想からもうががえます。プリントを配布して解答を記入したり、板書を写し取ったりすることがかなりの部分を占める授業は、参観される方をがっかりさせることでしょう。

4/22　全国学力学習状況調査 3 年生

次に、授業見学の視点につきまして記しますが、生徒たちの主体的な学習活動を披露するため、グループ学習やペア学習を一定時間取り入れて、前方を向いて座る姿勢を変えて一人一人の生徒の表情を見せたり、発言機会をつくったりすることがあります。また、教育機器活用を見ていただく機会ともなります。ICT（電子黒板、実物投影装置、プロジェクターによる投影）機器の活用は概ね良好な感想をいただいております。また、手作り教材の活用も教師の個性を感じる要素となるようです。

すべての生徒が生徒指導の対象であることをふまえて一人一人の生徒の名前を明確に呼んで授業を進めることは、安定した生徒指導の実践を感じさせます。授業規律が確立された環境で我が子の姿勢はどうなのか。生き生きとした表情でいるか。挙手は肘を伸ばして元気がよいか、発言は自信を感じさせる声量であるか。級友の発言に耳を傾けているか。教師の説明や問いかけを漏らさず聞き取れているようすか。グループ学習の際には与えられた課題をもとにコミュニケーションをとっているかなどを見ていただくことで興味深いものとなります。

参観授業は意図された活発な授業を行うべきであり、学習内容について事前の準備（課題）が与えられることもあります。教師が仕組んだ授業を見ることによって準備物に気づかれたり、授業内容の核心をついた発問であったりと、参観者をも授業に引き込むような場面をご覧いただけるよう励みたいものです。保護者の皆様に「学校へ出かけて貴重な時間を過ごせた」と思わせるオープンスクールになるようにと願っています。

被災地復興支援
本校生徒会並びに吹奏楽部宛て

宮城県名取市長、教育長からのお礼とともに現地の状況を知らせる文書（ホームページ掲載）をご覧ください。

「伊丹市立西中学校」で検索しアクセス願います